

関心事（2010年6月）

1. 食品添加物の新規指定

2010年5月28日、食品衛生法施行規則の一部が改正され、指定添加物が10品目増え、403品目になりました。

- 59 2-エチルピラジン（香料）
- 203 ステアロイル乳酸ナトリウム（乳化剤、安定剤）
- 208 ソルビン酸カルシウム（保存料）
- 230 5,6,7,8-テトラヒドロキノキサリン（香料）
- 312 プロピオンアルデヒド（香料）
- 328 2-ペンタノール（香料）
- 351 6-メチルキノリン（香料）
- 354 2-メチルピラジン（香料）
- 356 3-メチル-2-ブタノール（香料）
- 357 2-メチルブチルアルデヒド（香料）

また、次の8品目の香料（国際汎用香料）と香料以外の5品目の食品添加物が、内閣府食品安全委員会の健康影響評価を終え、薬事食品衛生審議会で審議中あるいは消費者庁と協議中とされています。

- 1) 2-エチル-5-メチルピラジン（香料）
- 2) イソペンチルアミン（香料）
- 3) ブチルアミン（香料）
- 4) フェネチルアミン（香料）
- 5) 1-ペンテン-3-オール（香料）
- 6) 3-メチル-2-ブテノール（香料）
- 7) ピペリジン（香料）
- 8) ピロリジン（香料）
- 9) L-グルタミン酸アンモニウム（調味料）
- 10) ケイ酸マグネシウム（製造用剤）
- 11) フルジオキソニル（ポストハーベスト）
- 12) 次亜塩素酸水
- 13) 亜塩素酸水

さらに、3品目の香料（国際汎用香料）は、内閣府食品安全委員会の専門調査会の健康影響評価が進んでいます。一方、既にパブコメを終えておりますトリメチルアミンについては、健康影響評価の結果が厚生労働省に通知されたとの情報はありません（公開された情報ではパブコメで止まっています。）。

- 14) 2,6-ジメチルピリジン（香料）
- 15) 3-エチルピリジン（香料）
- 16) 5-エチル-2-メチルピリジン（香料）
- 17) トリメチルアミン（香料）

なお、国際汎用香料（56品目）は、残りの14品目の準備が進められていると思われます。

2. 既存添加物の第3次消除（80品目）のWTO通報

2010年6月29日、既存添加物の第3次消除（80品目）について、WTO通報（衛生植物検疫措置の適用に関する協定第7条及び附属書Bの5（a）に基づく措置）されました。

施行予定日：2011年5月18日

WTO期限：通報日（6月29日）から60日後

消除予定品目：2010年5月18日に公示されました「消除予定添加物名簿」に記載された80品目

3. 「食品安全庁の設置を」

6月10日付けの日経新聞は、「山田農林水産大臣が、『食品行政は齟齬があってはうまくいかない』と述べた。そのうえで『厚生労働省の食品衛生部局と農林水産省の消費安全局を食品安全庁という形で農水省に一元化したい』と述べた。

民主党は昨年の衆院選マニフェスト（政権公約）で『食品安全庁』の設置を掲げており、農相就任にあたって改めて意欲を示した。『消費者庁はリスク評価が主になる。食品安全の管理、リスク管理は農水省でやりたい』と強調した。」と報じました。

4. 消費者庁「健康食品の表示に関する検討会」の論点整理

2010年6月8日、消費者庁の「健康食品の表示に関する検討会」で、2回目の論点整理が行われました。次回（7月28日）に論点整理を終え、消費者委員会へ報告し、さらなる議論がなされます。

2. 健康食品の表示に関する課題

- （1）特定保健用食品の表示許可制度について
- （2）機能性表示に係る制度について
- （3）健康食品の表示規制について

3. 具体的な対応方策の提案

- （1）特定保健用食品の表示許可制度について
 - ①特定保健用食品の表示許可手続の透明化
 - ②保健の機能を適切に伝える表示・広告方法
 - ③許可後に生じた新たな科学的知見の収集
- （2）機能性表示に係る制度について
 - ①特定保健用食品（規格基準型）の要件緩和
 - ②一定の機能性表示を認める仕組み
- （3）健康食品の表示規制について
 - ①虚偽・誇大表示規制の効果的な執行
 - ②関係法令・関係団体との連携促進
- （4）さらに検討が必要な制度的な課題
 - ①特定保健用食品の表示許可制度
 - ②健康食品の表示の効果的な規制

<http://www.caa.go.jp/foods/pdf/syokuhin321.pdf>

5. こんにゃくゼリーで法規制は困難（消費者庁）

6月30日、消費者庁の食品SOS対応プロジェクトはこんにゃくゼリーの安全対策を討議する会合を開催しました。次のように報じられました。

「食品SOS対応プロジェクトでは、「こんにゃく入りゼリーによる窒息事故の追跡調査について」として、2006年から08年の救急搬送データに基づいた追加の聴取資料なども新たに提出された。同プロジェクトは、1995年以降に相次いで発生した『こんにゃく入りミニカップゼリー』による窒息事故をめぐり、その安全対策を講じるために発足したものの、6月15日には消費者庁において法規制は困難との見方が強まったものの、食品安全委員会では7月中に、法規制を含めたこんにゃくゼリー対策の結論を出す方針を固めている。」

http://www.data-max.co.jp/2010/07/post_10634.html

6. 公正取引委員会が「優越的地位の濫用ガイドラインの原案」を公表

6月23日、公正取引委員会は、優越的地位の濫用に関する独占禁止法上の考え方、いわゆる優越的地位の濫用ガイドラインの原案を公表し、パブリックコメント手続を開始しました。

この原案は公正取引委員会のホームページに掲載されています。意見提出期限は、8月6日です。

7. 2008年アクリルアミドレベルの概要

EU加盟国及びノルウェーが提供した3,400以上の試料のLC-MSによる分析結果が公表されました。平均濃度の最も高い食品群は大麦やチコリなどの穀類から作るコーヒー様飲料を含む「コーヒー代用品（substitute coffee）」であった。検査対象となった22の食品群のうち、平均濃度が最も低かったのはその他パン製品でした。

食品毎のアクリルアミドの量の分布が、表で示されています。

<http://www.efsa.europa.eu/en/scdocs/doc/1599.pdf>

* コーヒー中のアクリルアミドについては、当初から懸念事項でありましたが、代替品がないのでクローズアップされなかった（クローズアップされることを避けた）と思います。（報告者）

8. IARC モノグラフで分類された化学物質 2010年5月27日

アルファベット、CAS番号、グループ別の3つのリストが掲載されました。

<http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php>

Group 1 ヒトに対して発がん性がある	: 107物質
Group 2A ヒトに対しておそらく発がん性がある	: 58物質
Group 2B ヒトに対して発がん性がある可能性がある	: 249物質
Group 3 ヒトに対する発がん性については分類できない	: 512物質
Group 4 ヒトに対しては発がん性がない	: 1物質

9. ナイジェリアで大規模な鉛中毒

2010年6月4日、BBCによりますと、

「ナイジェリア北部で鉛中毒により100人以上の子どもたちが死亡している。住人たちが違法に鉛濃度の高い地域で金の採掘を始めた3月以降に数が増加している。ナイジェリア保健当局がReuterに話

ったところによると、患者は355人、そのうち163人が死亡した。死亡が発見されたのは予防接種のために担当者が村を訪れた際、いくつかの村で全く子どもがいなかったためである。村人は子どもたちの死亡はマラリアのせいだと言っていたが、国際援助組織Medecins Sans Frontiersが血液中鉛濃度が高いことを発見した。Zamfara州ではこの地域の金の採掘に中国企業を雇っているが、村人が金を自分で掘ろうとした。これはナイジェリアでは違法である。また金の精錬の際に排出された鉛が近傍の水を汚染した可能性も指摘されている。」とのことです。

http://www.promedmail.org/pls/otn/f?p=2400:1001:2500680570836557::NO::F2400_P1001_BACK_PAGE,F2400_P1001_PUB_MAIL_ID:1000,83077

10. 政府の遺伝子組み換え作物推進に消費者は反発（英国）

遺伝子組み換え（GM）作物を推進する業界団体（農業生物化学技術委員会、ABC）が食品基準庁（FSA）のレポート作成に働き掛けを行っていたことが6月上旬、発覚しました。消費者はGM作物について依然として懐疑的な見方が強く、政府方針への介入に反発の声が上がっている。政権交代後も、政府は食料安全保障の観点からGM作物の推進に積極的な姿勢を示しており、それに反対する消費者との溝は埋まっていません。 <https://news.jetro.go.jp/jml/4c22b502dd310>

<欧州委員会がGM ジャガイモのEU 域内栽培を認可>

欧州委員会は2010年3月2日、バイエルが開発した遺伝子組み換えジャガイモ「アムフローラ」（工業用でんぷん用）の商用栽培を認可しました。1998年に初めてモンサントのGM トウモロコシの作付けが認可されて以来、EU 域内では12年ぶり、2件目の栽培認可だ。今回の久々の認可を機に、さらに14種類のGM作物の認可についての検討が進められているとのことです。

11. カルバミン酸エチルと3-MCPD のデータ収集

EU委員会（Recommendation2010/133/EU、EC、2010）は、6月21日、加盟国が2011年および2012年のスピリッツ等のカルバミン酸エチルと3-MCPD（3-モノクロロプロパン-1,2ジオール）エステルの詳しいデータをEFSAに報告することを求め、報告のためのテンプレート（報告形式：MS Excel）を公表しました。 <http://www.efsa.europa.eu/en/scdocs/scdoc/1569.htm>

12. 動物用薬品クレンブテロールによる食中毒の大発生

6月22日、メキシコのハリスコ州アラランダ市（Arandas）で、パーティーに参加した11人がクレンブテロール中毒になったことが確認され、今年のクレンブテロール中毒患者の合計が22人になったとのことです。農業家畜省とハリスコ畜産組合とSSJは共同記者会見でクレンブテロールの違法使用に対して強力な対策を執ると述べました。

http://www.promedmail.org/pls/otn/f?p=2400:1001:1231612257861257::NO::F2400_P1001_BACK_PAGE,F2400_P1001_PUB_MAIL_ID:1010,83360

13. グァーガムのダイオキシンの検査結果（その1）

グァーガムのダイオキシン汚染問題の解決のために2009年10月に実施されましたFOVの視察報告書（FVO India 2009-8329）は、「グァーガム中のPCPやダイオキシン類の汚染源は依然として不明

である。グァーガムの汚染の程度は当初考えられていたよりも広範囲にわたることがわかった。PCP の製造・販売に対する管理策の欠如は、今後も汚染の可能性を除去できないことを意味する。従って、輸出前の効果的な検査が、欧州における汚染の再発を防止する唯一の方策である。」と結論しました。

日本も多量のグァーガムを輸入していますので、入手しました 1 試料を登録検査機関で分析したところ、ダイオキシン類（毒性等量として）0.052pg-TEQ/g 及び同属体 0.24pg/g が検出されましたが、同一試料から PCP が検出されませんでしたので、今般の結果は環境汚染が原因と考えられます。

検出されましたダイオキシン類は、直ちに健康に影響するレベルではないと思いますが、EU が示した汚染の懸念を証明するものですので、グァーガムの安全を確保するために、検疫所等の検査体制を確立された上でのモニタリング検査と輸入者による自主的な検査が必要だと思われます。

1.4. 輸入食品の特徴的な食品衛生法違反事例（2010年6月）

- ・伊藤忠食糧販売株式会社がエクアドルから輸入した生鮮カカオ豆の命令検査で、一律基準を超えて 2,4-D が 0.03ppm 検出され、廃棄、積戻し等が指示されました。（本年4、5月も同様の事案あり。）
- ・ジュンコ貿易ラリットバーンがインドから輸入したベーキングパウダーの自主検査で、指定外添加物（硫酸アルミニウム）の使用が認められ、廃棄、積戻し等が指示されました。
- ・サンギ株式会社がベトナムから輸入した生鮮スナックエンドウの命令検査で、アセフェート 0.3ppm 検出による成分規格不適合とされ、廃棄、積戻し等が指示されました。
- ・株式会社交洋が中国から輸入した加熱後摂取冷凍食品（凍結直前未加熱）剥きえびの自主検査で、二酸化硫黄 0.11g/kg 検出による使用基準不適合とされ、廃棄、積戻し等が指示されました。
- ・阪和興業株式会社が中国から輸入した加熱後摂取冷凍食品（凍結直前未加熱）蒲焼うなぎの命令検査でロイコマラカイトグリーン 0.004ppm 検出による成分規格不適合とされ、廃棄、積戻し等が指示されました。
- ・神戸化成株式会社がインドから輸入した食品添加物香辛料抽出物クルクミンの自主検査で、アセトン 2,300ppm 検出による使用基準不適合とされ、廃棄、積戻し等が指示されました。
- ・三菱商事株式会社が米国から輸入した鶏肉・冷凍・加工用未調整品に対する川崎検疫所及び大阪検疫所のモニタリング検査で、ラサロシド 0.07ppm と 0.14ppm がそれぞれ検出され、成分規格不適合とされ、廃棄、積戻し等が指示されました。
- ・株式会社遊茶が中国から輸入した八宝茶の自主検査で、二酸化硫黄 1.1g/kg 検出による使用基準不適合とされ、廃棄、積戻し等が指示されました。

同様な違反事案が繰り返されていることは、残念の極みです！！

以上。

（作成：2010年6月30日）